



クリーンアップ。

ひぬま

Vol.32

2015.9

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

平成27年度 ひぬま流域クリーン作戦を実施しました

平成27年7月19日(日)、大好き いばらき 県民会議との共催により「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。当日は、朝早くからの実施にもかかわらず、本ネットワーク会員をはじめ、大好き いばらき 県民会議ネットワーク、涸沼流域の団体・事業所の皆様、さらには地元住民・学生の皆様など、過去最高となる726名の方々にご参加いただきました。

涸沼自然公園駐車場において、谷萩会長、幡谷県民会議理事長、茨城町の小林町長の挨拶の後、涸沼自然公園から親沢公園方面コース(約3.0km)、広浦公園コース(約4.0km)、公園外周コース(約3.0km)の3コースに分かれて、沿道や湖畔のゴミ拾いと外来植物の除去を行いました。

清掃活動の結果、茨城町指定のゴミ袋に、燃えるゴミ30袋、燃えないゴミ3袋、外来植物 軽トラック1台分、そのほか多くのプラスチックゴミなどを回収しました。また、昨年に引き続き、日本釣用品工業会に協賛いただいて水中の清掃も行いました。

ご参加いただいた皆様の「美しい涸沼を守りたい」という気持ち、流域にお住まいの方々はもちろんのこと、県内外から訪れる多くの観光客の方々に届くことを願いながら、今後も涸沼の水質浄化に向けた活動を実践してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。



ご参加いただいた団体・事業所

(※敬称略・順不同)

- ・クリーンアップひぬまネットワーク会員
- ・日本釣用品工業会
- ・板橋精機株式会社
- ・常陽ボランティア倶楽部
- ・東京海上日動火災保険(株)
- ・自然観察クラブ
- ・水戸ヤクルト販売株式会社
- ・茨城町さわやかエコの会
- ・茨城町立青葉中学校 等
- ・大好きいばらき 県民会議ネットワーク
- ・イオンリテール(株)イオン笠間店
- ・内原くらしの会
- ・はつらつサークル
- ・(株)ニコン水戸製作所
- ・NPO法人アースカラー
- ・茨城町建設業協会
- ・茨城県立茨城東高等学校
- ・大涸沼漁業協同組合
- ・イオンタウン水戸南SC
- ・笠間工芸の丘(株)
- ・勇成会
- ・水戸ホーリーホック
- ・株木建設株式会社茨城本店
- ・大洗町食生活改善推進員連絡会
- ・茨城町立明光中学校

ご協力ありがとうございました

平成27年度 定期総会を開催しました

平成26年5月20日(水)、いこいの村涸沼(銚田市)において、平成27年度定期総会を開催いたしました。

総会では、平成26年度事業報告・決算報告、平成27年度事業計画案・予算案について審議が行われ、すべての議案が承認されました。

講演会では、本ネットワーク顧問の廣瀬誠氏から、「クリーンアップひ



水質浄化啓発講演会

ぬまネットワーク15年の歩み～回顧～」というテーマで、本ネットワークの歴史と涸沼の特徴についてご講演いただきました。ヒ

ヌマイトンボを発見時の様子、汽水湖としての涸沼の特徴、涸沼と人びととの関わりなど多岐にわたるお話をお伺いすることができました。

今年度は、以下の事業計画に基づき事業を実施してまいります。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。



平成27年度 定期総会

〈平成27年度 事業計画〉

広報啓発事業

- ① 水質浄化ポスターの募集及び展示
- ② ひぬまフォトコンテストの実施
- ③ 広報誌の発行(年2回)
- ④ ホームページの運営
- ⑤ ひぬま環境フォーラムの実施
- ⑥ 水質浄化キャンペーン(※流域市町単位で実施)



実践活動事業

- ① ひぬま流域クリーン作戦の実施
- ② ひぬま流域ウォッチングの実施
- ③ 環境イベント等への参加
- ④ 水質浄化功労者の表彰
- ⑤ 一斉清掃活動の実施(※流域市町単位で実施)
- ⑥ 学校における環境学習活動への支援



涸沼がラムサール条約に登録されました

第3回

涸沼が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。

この度涸沼がラムサール条約湿地として登録され、ウルグアイで開催されたラムサール条約第12回締約国会議において、登録認定証が県並びに銚田市、茨城町、大洗町に授与されました。

関東唯一の汽水湖である涸沼には、スズガモをはじめ、オオワシやニホンウナギ、ヒヌマイトンボなど多種多様な生物が生息していることから、これまで、地域が一丸になり条約登録に向け取り組んできました。

ラムサール条約への登録により、国内外から注目が集まることで、多くの人々が野鳥観



シンポジウムの前に
ヒヌマイトンボを観察する柳生会長(右奥)

察や観光に訪れ交流人口の増加や地域の活性化が期待されるほか、シジミなど涸沼の農水産物が条約湿地の自然環境に支えられた特産品としてブランド化を図ることも期待されます。

7月には、日本野鳥の会会長の柳生博さんを迎えての登録記念シンポジウムやヒヌマイトンボ観察会を開催し、涸沼の登録後の在り方について、参加した多くの皆様に考えていただく機会となりました。

今後は、地域が一体となって賢明な利用(ワイズユース)を図りながら、自然環境の宝庫である涸沼を次の世代へ引き継いでいきましょう。

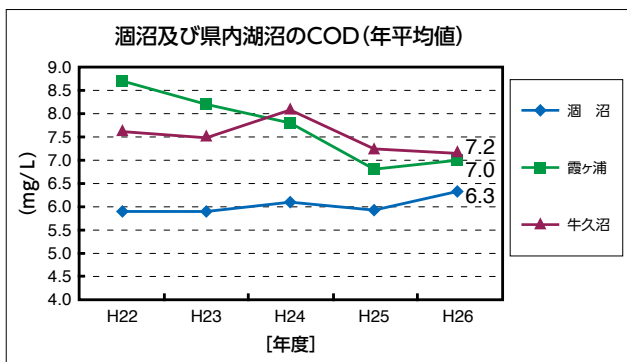


登録認定証

Q1.「ラムサール条約」名前の由来は？

A1. イランのラムサールという都市で採択されたことにちなんでいます。

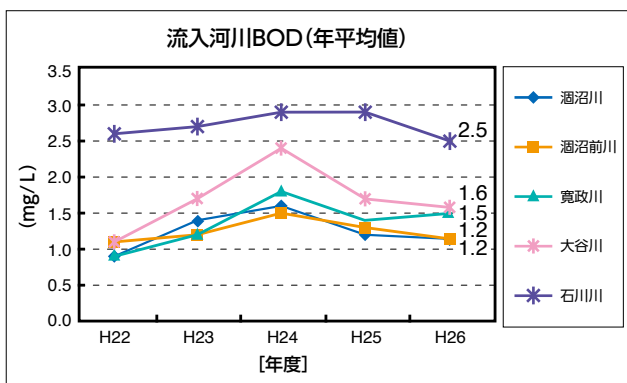
涸沼の水質・涸沼流入河川の水質について ～茨城県生活環境部環境対策課～



平成26年度の涸沼の水質については、COD(※1)が6.3 mg/Lであり、平成25年度と比較すると上昇しましたが、長期的には横ばいです。

なお、霞ヶ浦は7.0mg/L、牛久沼は6.8mg/Lでした。

※1 COD(化学的酸素要求量)とは…
湖や海の汚れの程度を表す代表的な指標。
数値が高いほど、汚れが大きい。



涸沼に流入する主要5河川の水質については、BOD(※2)が、大谷川、石川川で平成25年度よりも低下しました。

※2 BOD(生物化学的酸素要求量)とは…
川の汚れの程度を表す代表的な指標。
数値が高いほど、汚れが大きい。



鉾田市立旭北小学校の取り組み

本校では「環境」を総合的な学習の時間のテーマとし、3年生では「自然環境と水生生物」4年生では「涸沼や大谷川の自然環境」を課題として、体験活動を重視した取り組みを行ってきました。

3・4年生の大谷川の自然観察では、ヌマガレイ(カレイ科)やヨシノボリ(ハゼ科)、モズクガニ、ザリガニなどを捕獲し、CODバックテストの数値は5mg/L、透明度は約80cmなどの結果が得られました。子どもたちが作成した仕掛けにヌマガレイが入っていたことから、大谷川の生物への興味が非常に高まりました。また、地域の方から昔の涸沼についてお話を伺うことや霞ヶ浦環境科学センターの富田先生に水質検査の方法を学び、自然を観察する視点を学習することができました。

涸沼の自然観察においては、茨城県環境アドバイザーの廣瀬先生に涸沼の自然について説明を頂きました。動植物の名前の由来や生物の特徴についてのお話は子どもたちの興味を高め、ヨシキリなどの野鳥やクロベンケイガニなどの水生生物、ヨシやマコモなどの植物を観察し、涸沼の自然環境に触れる貴重な体験となりました。この体験から、子どもたちは涸沼や大谷川の自然環境を大切にしていきたいという思いが強くなりました。また、この後行われた、涸沼ピカピカ大作戦では、涸沼浄化のため、たくさんのごみを拾うことができました。

今後は、ラムサール条約に関する学習やスズガモなどの野鳥観察を行うことで、涸沼の環境に対する理解と関心を更に深め、涸沼の水質浄化活動につなげていきたいと思ひます。



河川の水質調査



涸沼の自然観察の様子



涸沼ピカピカ大作戦(クリーン活動)

Q2. ヒメマイトトンボが発見されたのは？

A2. 1971年です。(ラムサール条約が制定された年でもあります)

クリーンアップひぬまネットワーク事業のお知らせ

◆第15回 ひぬま環境フォーラム

日にち 平成27年11月28日(土)

場 所 いこいの村瀬沼(鉾田市)

内 容 第1部 水質浄化ポスター入賞者表彰式
第9回ひぬまフォトコンテスト入賞者表彰式
平成27年度水質浄化活動功労者の表彰式

第2部 水質浄化啓発講演会
(是非ご参加ください。)



「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています

クリーンアップひぬまネットワークでは、イオングループが実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しております(登録店舗:イオン笠間店)。このキャンペーンは、毎月11日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地元ボランティア団体など応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%がボランティア団体などに品物で寄贈されるものです。

平成26年度は、軍手を贈呈いただき、今年の「ひぬま流域クリーン作戦」(7月19日実施)で活用させていただきました。

ご協力ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。
今後ともよろしく
お願いいたします。



読者プレゼントクイズ

			6	4	8	3		9
6		4	2				7	
	2		5	1		4	6	8
9	7	3	8		5		1	4
1		5	4		9			
				3		9		6
4		6		5	2			
2		8		7	6	1		5
5	9	7	1	8	4	6		

文字も隠れています。分かりますか?(クイズには関係ありません)

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で5名の方に「オリジナルエコバック」を、10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 平成27年10月30日(金)の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.31ナンバーナインの答えは「25」でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

- ◆ 水は生活に欠かせないもの、少しでもきれいに家庭協力できることはと油ものの食器は拭いてから洗ったり、アクリルたわしの使用・台所洗剤の選択など気を使っています。
- ◆ 美しい瀬沼の自然を大切にするために多くの方が様々な活動をしていると知り、水の大切さや水をなるべく汚さないように(台所の工夫)心がけたいと思いました。



たくさんのメッセージありがとうございました!!

- ◆ 以前にボランティアで瀬沼のごみ拾いに参加させていただきました。きれいになると気持ち良く、また、自分が住む町に素晴らしい環境があることが改めてありがたく感じました、町民として、今後も瀬沼を大切にしていきたいです。
- ◆ 瀬沼って聞くと、身近には思えないのだけれど、この「クリーンアップひぬま」が回覧版で回ってくると、そうだよ、近くに瀬沼川あるんだって、去年も橋のところから鮭みたなあって、瀬沼につながっていることを思います。

■ 発行: クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6(茨城県生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

